

【22_021/技術系メルマガ】『母数を集める検証』と『認識力を高める検証』

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日、久々のモーニングライブをやらせて頂きましたが

毎度のことながら、朝のリアタイ視聴に沢山の方が参加してくれて嬉しく思います。

▼今日のライブアーカイブ～『検証母数』を誰でも100個集められる方法～▼

<https://youtu.be/oL4wJ7ga-PM>

最近更新した【デイトレ講座】の最新メールでも『検証方法』をテーマに文章を書いていたので

僕の頭の中がその言語化でホッとになってるうちに、思いつくことを喋っておきたいと思って(笑)

ライブのテーマもそれに合わせた内容にしました。

□

└─ ■ 『母数』を集めるべきかは、目的によって変わる

今日のメールでは、ライブの中では十分に話をしきれなかった点に触れようと思います。

サブタイトルにも書いたように、検証というのは その目的によって『数をどんどん集める』べきものと、1枚のチャートを『じっくり読み込む』ものに分かれます。

前者は、ライブでも説明した通り『ルールの確立』や『既存ルールのイメージ作り』など

要は『手法を固める』事に特化した検証が該当します。

この辺は、『エントリーに結び付けるまでのイメージ』を、自分の中でクリア(明確)にするための作業なので

如何に数を見て自分の目と感覚を慣らしていくかがポイントです。

一方、『じっくり読みこむ』タイプの検証とは、例えば 日足以上の長期足チャートで
大まかな『目線(戦略)』を決めるための環境認識をすることに慣れる為の検証なので

- ・一貫した線引き、トレンド判断をする練習
- ・引いたラインに対し、ローソク足を基準としたプライスアクションを読み解く練習

といったように、1枚のチャートからじっくりと情報を抽出する訓練を行うものになります。

このタイプの検証は、1つのチャートを何度も検証したりする場合もあるので

『母数を稼ぐ』というよりは『時間をかけて取り組む』ものです。

この辺、詳しい方法論などは【007_無敗最速デイトレ講座】を参照してみてくださいね。

長期足環境の分析は、デイトレをやるにもスイングをやるにも

『その方向にトレードするための背景』がどれだけしっかりしているか？

を事前に把握しておくことによって、『1回1回のトレードの精度を向上させる』事が目的です。

そのため、マルチタイムフレーム分析にまだ慣れていない人が

日足以上の分析を先に取り組むと、「目線は分かるけど、エントリーをどこでするかわからない」という状態に陥りがちです。

ですので、実際ルール作りを踏まえた検証を行うには

長期環境認識の練習といった『じっくり型の検証』と、エントリールールを固めるための『母数を集める検証』

役割によってそれぞれ異なるタイプの検証作業があることを意識してもらえればと思います。

それでは、また次回のメールで！